

2021年4月9日

SDGsの取り組みが農林水産省HPに掲載

株式会社日本アクセス（所在地：東京都品川区、代表取締役社長：佐々木淳一、以下：当社）が推進しているSDGsの取り組みが農林水産省のホームページ『SDGs×食品産業』に“始まった食品事業者の取組”として掲載されました。

掲載の内容は、現在の企業理念を作り上げた経緯や込めた思い、当社のSDGs達成に向けた姿勢や取り組み内容で、企業理念、フードロス対策の取り組み、関東フローズンマザー物流センターの稼働、冷凍ミールキットの開発、情報卸などが取り上げられています。

当社は今後もSDGs達成に向けて取り組んでいきます。

[農林水産省『SDGs×食品産業』](#)

[『日本アクセスの取組』](#)

始まった食品事業者の取組



株式会社日本アクセス



日本アクセスは、1993年の5社合併を機に誕生し、それ以後も統合・合併を経験し事業規模を拡大してきた会社であり、日本の食を支える食品総合卸として、全国各地のお客様へサステナブルに商品とサービスを提供し続けています。

また、日本アクセスは、社会の変化、生活者のニーズに応じていくため、「卸売市場」「ロジスティクス市場」「製造・加工市場」の3つの市場分野における「ACCESS VALUE」の実現を通じて「卸売」の枠を超えた「卸」企業を目指しています。

このたび、CSR活動とSDGs達成に向けた取組について、株式会社日本アクセスの広報・サステナビリティ推進部長・後上浩さん、生鮮・デリカ商品開発部長・小野陽さん、ロジスティクス戦略室長・田中弘志さんにお話を伺いましたので、その内容を紹介します。



写真左から
ロジスティクス戦略室 田中 弘志さん
生鮮・デリカ商品開発部 小野 陽さん
広報・サステナビリティ推進部 後上 浩さん

取材日：2021年2月19日 株式会社日本アクセス本社にて